

被爆 70 周年 ヒロシマを見つめる三部作

第 3 部 ふぞろいなハーモニー

2015 年 12 月 19 日 (土) ~ 2016 年 3 月 6 日 (日)

被爆 70 周年を迎える本年、広島市現代美術館では「ヒロシマを見つめる三部作」と題し、原爆被害を受けた広島を振り返り、復興の軌跡を見つめ、「今」そして「これから」を考える、3つの異なる視点に基づいた展覧会を連続開催します。(第1部 ライフ=ワーク [2015年7月18日~9月27日]、第2部 俯瞰の世界図 [2015年10月10日~12月6日])

盛んな交流の反面で様々な課題を抱える東アジア。被爆地・広島で美術を通して「調和」について考えます

本展は、東アジア地域において常に変化する「調和=ハーモニー」について、現代のアーティストによる作品や調査、活動から、対話の機会を広げていくことを目指した展覧会です。

人や文化の交流が活発で、魅了しあい、影響しあう関係性にある東アジアは、一方で政治的な軋轢の絶えない地域でもあります。本展での「調和」とは、協力体制を築こうと意識する動きであり、時に多様性とは反対の圧力になり得る一面を持っています。本展では、アーティストたちの作り出す作品を、変化の中にある時代を映す鏡ととらえ、社会と結びついた美術表現を通じて、東アジアの今を広島から探ります。

ひとつの歴史的な事象も、別の立ち位置から見れば全く異なるとらえ方をするように、多様な視点があることを認識し受け止める想像力が現代ますます求められています。被爆の惨禍を記憶に持つ広島でこれまでを振り返りこれからを考えることで、新たな関係を培うべく今日の社会における課題について、美術を通して考えます。

<出品作家>

陳界仁 (チェン・ジエレン) [台湾]、千葉正也 [日本]、ハム・ヤンア [韓国/オランダ]、郝敬班 (ハオ・ジンパン) [中国]、サイレン・ウニョン・チョン [韓国]、キム・ソラ [韓国]、ク・ジュンア [韓国/イギリス]、クォン・ビョンジュン [韓国]、李傑 (リー・キット) [香港/台湾]、梁志和 (リョン・チウー) [香港]、劉鼎 (リウ・ティン) [中国]、高嶺格 [日本]、田中功起 [日本/アメリカ]、鄧兆旻 (テン・チャオミン) [台湾]、ウー・ツァン [中国/アメリカ]、米田知子 [日本/イギリス]

開催概要

【会期】	2015 年 12 月 19 日 (土) ~ 2016 年 3 月 6 日 (日)
【開館時間】	午前 10 時~午後 5 時 ※入場は閉館 30 分前まで
【休館日】	月曜日 (ただし 1 月 11 日を除く)、1 月 12 日 (火) 年末年始 (12 月 27 日~1 月 1 日)
【観覧料】	一般 1,030 (820) 円、大学生 720 (620) 円、 高校生・65 歳以上 510 (410) 円 ※ ( ) 内は前売りおよび 30 人以上の団体料金 ※中学生以下無料
【主催】	広島市現代美術館、中国新聞社
【企画・助成】	ゲーテ・インスティトゥート
【後援】	広島県、広島市教育委員会、広島エフエム放送、尾道エフエム放送



田中功起  
《1 台のピアノを 5 人のピアニストが弾く (最初の試み)》2012 年  
Courtesy of the artist, Vitamin Creative Space, Guangzhou and Aoyama Meguro, Tokyo  
Commissioned by The University Art Galleries, University of California, Irvine



サイレン・ウニョン・チョン  
Images sketch for 《I am Not Going to Sing》2015 年



リョン・チウー  
《Storical Affairs》2006 年



ウー・ツァン  
《Shape of A Right Statement》2008 年  
Courtesy of the artist